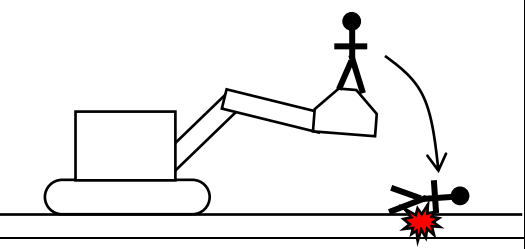
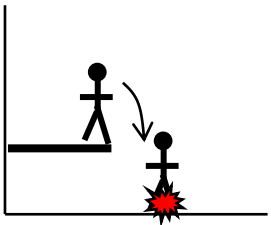
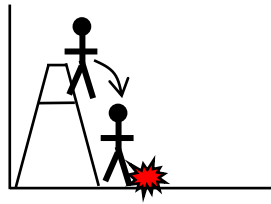
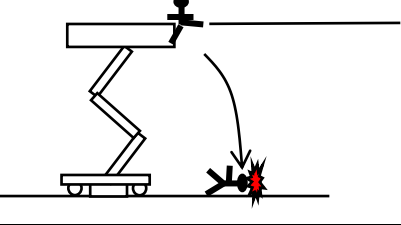
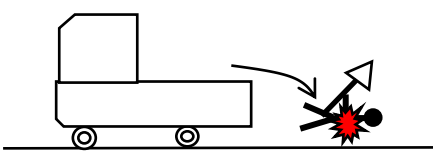
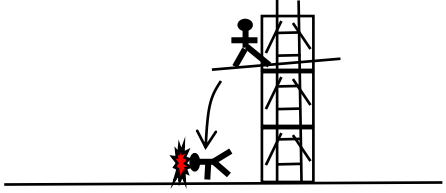


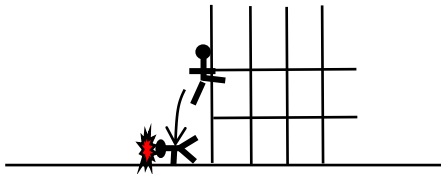
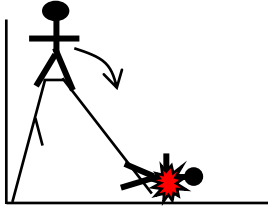
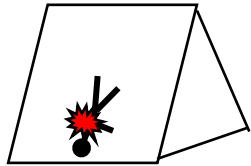
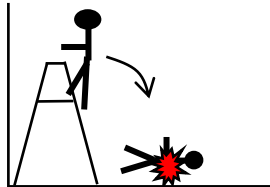
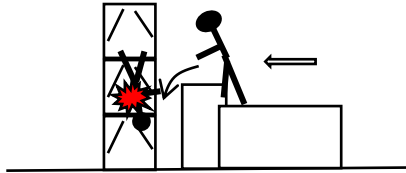

令和元年 建設業 3大災害事例

～ 墜落・転落 はさまれ・巻き込まれ 飛来・落下 ～

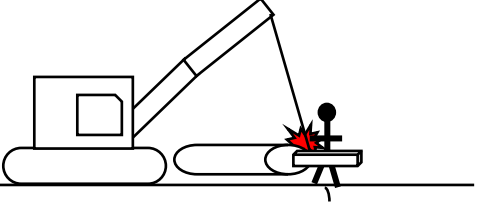
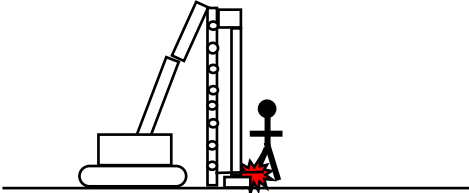
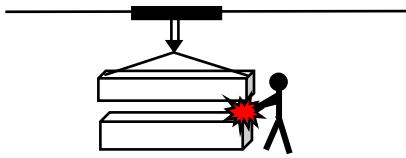
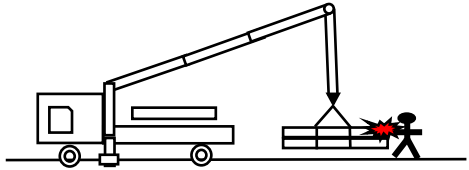
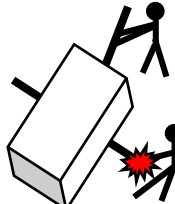
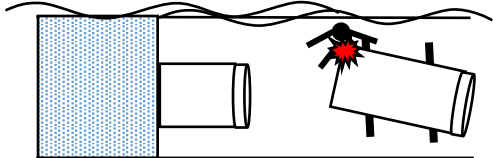
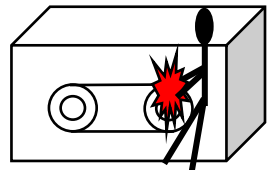
亀戸労働基準監督署管内

墜落・転落災害

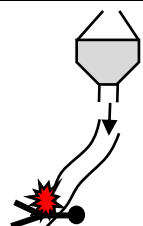
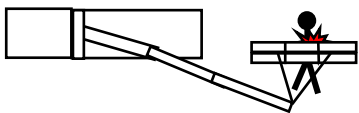
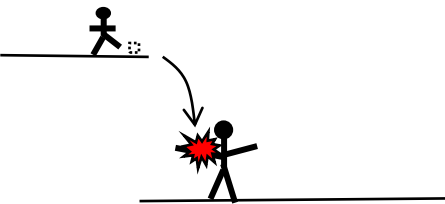
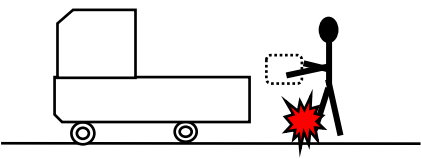
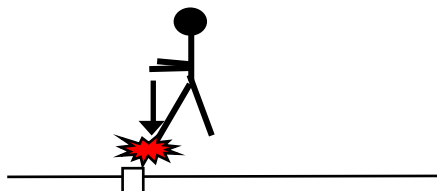

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	30歳代	解体工	6か月	建物の壁に設置された電線の撤去作業中、被災者が車両系掘削機械のバケット上に乗って電線金具を外していたところ、電線が被災者に当たり墜落した。	
2	40歳代	電工	3か月	電源ケーブルをピットからトレンチ内へ落とし込む作業をしていたところ、ケーブルがラックに引っかかり、それを直す際、ラックから足を踏み外し1.5m下の床に墜落した。	
3	30歳代	ボード工	3か月	被災者が7尺脚立の5尺目に乗り、外壁のプラスターボードを工具にて止める作業中、力を入れた際、バランスを崩して墜落した。	
4	20歳代	鉄骨工	3か月	同僚から依頼されたボルトを届けるため、被災者が高所作業車に乗って、天井裏のボードに乗り移ろうとした際、バランスを崩して約3.5m下の床に墜落した。	
5	50歳代	舗装工	3か月	4トントラックの荷台で片づけ作業中、被災者はスコップを持ったまま後ろ向きに道路上に墜落した。	
6	50歳代	製缶工	2か月	わく組足場の側面に設置した垂直はしごを被災者が片手に材料を持ち昇っていた。その際、足場に移るため仮置きした単管パイプに足を掛けたところ、バランスを崩して約2.4m下に墜落した。	

7	40歳代	大工	2か月	足場上でネットシートを広げる作業中、被災者は足場の3段目から2段目へ降りようと建地に足を掛けた際、足を滑らせて約3.5m下の床上に墜落した。	
8	20歳代	大工	1か月	脚立に乗りビスの打ち直し作業をするため、鉄骨梁に手を掛けたところ、脚立の開き止め装置を付け忘れたため、脚立が開き約1.5m下の床に墜落した。	
9	40歳代	土工	1か月	高さ2m弱の盛土があり、その横部にある鋼製材に付着した土をケレン作業するため、安全通路を通らず近道したとき、足を滑らせて約2m下へ墜落した。	
10	40歳代	内装工	2週間	脚立上で作業中、足を滑らせて高さ約1.5mのところから墜落した。	
11	50歳代	墨出工	2週間	工事現場内の昇降階段を昇っているとき、段差につまずいた際、前方にある外部足場の作業床上へ約60cm墜落した。	
12	70歳代	土工	1週間	作業場所から詰所へ戻る際、掘削面の側を通行する際、地盤上にぬかるみにより、足を滑らせ、掘削底に転落した。	

はさまれ・巻き込まれ災害

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	50歳代	舗装工	3か月	公園灯抜柱作業のため、移動式クレーンを使用していたところ、当該クレーンの運転者と作業者の確認不足により、被災者の右手がクレーンの巻上用ワイヤロープに巻き込まれた。	
2	50歳代	土工	2か月	基礎工事用機械の削孔を開始するため、運転者がケーシングを回転させた。ケーシング内に設置したカンザシ（ケーシング受け棒）を抜こうとした被災者が回転してきたカンザシと反力台の間に足を挟まれた。	
3	30歳代	製造工	2か月	天井クレーンを使用して機械を吊り上げ、別に機械の上に乗せようとしたところ、位置確認が不十分な状態で横移動させたため、機械に添えていた被災者の手の指先が機械に挟まれた。	
4	20歳代	土工	1か月	移動式クレーンを使用して、鋼管（2本をバンドで締結したもの）を吊下ろす際、鋼管と鋼管との間に被災者が右手を置いたまま荷下ろししたところ、鋼管が内側に滑り指を挟まれた。	
5	50歳代	運搬工	1か月	重量約250kgの鋼鉄製架台の下敷きになっている単管パイプを抜くため、一人が当該架台を単管パイプを使って持ち上げ、被災者が単管パイプを抜こうとしたところ、架台が横滑りして落下し、単管パイプを掴んでいた左手を挟まれた。	
6	60歳代	土工	1か月	下水道管の撤去作業中、既設の管を引抜き仮置きした際、管の転び止めが外れ、当該管が滑り出し、被災者が山留材との間に太ももを挟まれた。	
7	30歳代	設備工	1週間	エアコン室外機のVベルト交換のため、外板を外した。被災者が突起物で足がつかずき態勢が崩れた拍子に体がリモコン運転スイッチに触れてエアコンが起動し、手が回転しているベルトに触れてしまい、指を巻き込まれた。	

飛来・落下災害

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	イメージ
1	50歳代	打設工	3か月	コンクリート打設作業中、クレーンで揚重したホッパーに接続していたホースがコンクリートで閉塞した。そのため、ホッパーを巻き上げた際、ホースの先を固定している金属金具がひっかかり、ホース押さえバンドが破断してホースが落下し、被災者に激突した。	
2	40歳代	運転手	2か月	積載型移動式クレーンを使用して鉄筋材料を吊り上げ荷台に載せようとした。その際、アウトリガーの張り出しを行っていなかったため、車両が横転したとき、鉄筋材料が落下し、被災者に激突した。	
3	20歳代	施工管理	1か月	外部デッキにおいて、2階から1階へ排水ポンプを移動しようとしたところ、そのポンプの近くに置いてあった角材に当たり、落下した際、1階で監視していた被災者に激突した。	
4	40歳代	型枠工	2週間	トラックの荷台に乗り、コンクリートガラを下している際、当該ガラを右足小指の上に落とした。	
5	40歳代	土工	2週間	被災者がコンクリートブレーカーを使用し、コンクリートの研作業を行っていた際、当該ブレーカーの先を誤って足の甲に落とした。	
6	40歳代	鉄骨工	1週間	デッキスラブ上をT型鋼（長さ4.3m、重量18kg）を肩で担いで移動中、滑って尻もちをつき、担いでいたT型鋼を手の甲の上に落とした。	

※ 本事例は、亀戸労働基準監督署管内（江東区内）における建設業の災害のうち、災害の多い事故の型ワースト3をまとめたものです。